

基督教学研究

第 23 号

論文

- キルケゴールにおける「Continuum」の問題……………林 忠良…一
 シュヴァイツァーとアイヒホルン——聖餐をめぐって(一)……田 辺 明 子…三
 神学と宗教学
 ——両者が困難を越えて関係を結ぶための暫定的な覚書——
 ……………クリストフ・シュヴエーベル… 四

研究

- リクールの贈与論
 ——倫理の源泉としての贈与の経綸——……………佐 藤 啓 介… 五
 神秘主義と罪責意識のアンチノミー
 ——初期ティリツヒのシェリング解釈——……………近 藤 剛… 六
 類似しない類似
 ——神への上昇の偽ディオニシオス的方法——……………大 月 栄 子… 一〇
 二つの「義の神」像
 ——アトレマイオスとマルキオンにおける解釈をめぐって——…津 田 謙 治… 一三
 アレイオス主義における神論と救済論についての一考察
 ……………大 橋 仁 夫… 一七
 理解のための思考
 ——ハンナ・アーレントの「精神の生活」における「思考」の意義——
 ……………今 出 敏 彦… 二七

彙報

彙報

二〇〇三年度基督教学専修講義題目

片柳榮一 教授 講義 「キリスト教学概論」

特殊講義 「自由論の宗教哲学的課題」

演習 「アウグスティヌス『三一神論』第十卷(原典演習)」

「マタイ福音書(原典演習)」

演習 「キリスト教思想史における

芦名定道 助教授 特殊講義 「自然の諸問題(2)」

演習 「日本・アジアのキリスト教

(海老名弾正)」

「Alister E. McGrath, The

演習 Foundations of Dialogue in

Science & Religion, Black-

well 1998 (宗教と科学の新た

な関係構築に向けて——A・

E・マクグラス——)」

片柳榮一教授・芦名定道助教授

演習 「キリスト教学の諸問題」

Ch. Schwöbel 客員教授、Martin Repp 講師

演習 「宗教的多元主義の諸問題」

勝村弘也 講師 「預言と知恵」

特殊講義 「ハブライ語文法と講読」

大石祐一 講師 語学 「R. Bultmann, Jesus」

講読

二〇〇二年度論文題目

修士論文

大橋仁夫 「アレイオス主義における神論と救済論に

ついての一考察」

今出敏彦 「創始としての公共」

卒業論文

渡部雄満 「キリスト教とセクシユアル・マイノリ

ティについて」

京都大学基督教学会規約

- 一、本会は京都大学基督教学会と称し、事務局を京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科キリスト教学研究室に置く。
 - 二、本会は基督教教学研究の進展を目的とする。
 - 三、本会は前条の目的を達成するために以下の事業を行う。
 - (一) 研究発表会 講演会などの開催
 - (二) 学会誌『基督教教学研究』の発行
 - (三) 内外の研究機関及び研究者との相互交流
 - (四) その他の必要な事業
 - 四、本会は基督教教学の研究に従事する者、もしくは本会の趣旨に賛同する者をもって会員とする。入会は委員会の承認による。
 - 五、本会の経費は、会費、寄付金、その他の収入をもつてこれに充てる。

会員は年会費五千元を納めるものとする。会員のうち年額一口五千元を二口以上納めるものを維持会員とする。
 - 六、本会の運営のために次の委員を置く。
 - (一) 代表者 (一名)
 - (二) 委員 (若干名)
 - (三) 監事 (一名)
- 七、本会は毎年総会を開き、会計及び一般報告を行い、必要事項を協議する。
 - 八、本規約は委員会の発議に基づき、総会において変更することができる。

(本規約は一九九八年二月から施行する。)

代表者…小池三郎
 委員…高野晃兆、林 忠良、片柳榮一、宮庄哲夫、
 勝村弘也、声名定道、武藤慎一
 監事…水垣 渉

執筆 者

林 忠 良	関西学院大学名誉教授
田 辺 明 子	プール学院大学教授
クリストフ・シラエーベル	ハイデルベルク大学教授
京都大学大学院客員教授	
佐 藤 啓 介	京都大学大学院文学研究科後期課程
近 藤 剛	京都大学大学院文学研究科後期課程
大 月 栄 子	京都大学大学院文学研究科後期課程
津 田 謙 治	京都大学大学院文学研究科後期課程
大 橋 仁 夫	京都大学大学院文学研究科後期課程
今 出 敏 彦	京都大学大学院文学研究科後期課程

『基督教学研究』投稿規定

- 一、寄稿者は本学会員にかぎる。
- 二、内容は未発表の学術論文であること。採否ならびに掲載の時期は、査読委員による査読の報告に基づき、編集委員会が決定する。
- 三、寄稿原稿は、論文については四〇〇字詰原稿用紙四〇〜五〇枚（註・図表などを含む）相当、研究については三〇枚相当とする。
- 四、寄稿原稿の執筆細目および査読審査規定については、別途、原稿執筆要項等の内規にて定めることとする。
- 五、寄稿原稿には、欧文タイトル、執筆者欧文氏名を付記すること。
- 六、原稿が採用された場合、執筆者には抜刷三〇部を贈呈する。
（本規定は二〇〇〇年一月二六日から施行する）

第二十三号編集実務委員会

小池三郎
高野晃兆
林野忠良
片柳榮一
宮庄哲夫
勝村弘也
芦名定道
武藤慎一

二〇〇三年十二月二十日印刷
二〇〇三年十二月三十日発行

定価一五七五円
(本体一五〇〇円)

発行者

京都大学基督教学会
京都市左京区吉田本町
京都大学大学院文学研究科
キリスト教学研究室内

発行人

小池三郎

発売元

(株)一麦出版社
札幌市南区北ノ沢3丁目4-10

印刷所

(株)アイワード

本誌の御註文は、最寄のキリスト教書店、もしくは、右記、京都大学基督教学会（振替〇一〇三〇一五―七二〇七）へ、送料とも一七八五円（定価一五七五円、送料二一〇円）を添えてお申込み下さい。

JOURNAL
OF
CHRISTIAN STUDIES
KIRISUTOKYOGAKU KENKYU

Vol.23

December, 2003

Contents

- Der Begriff »Confinium« bei Søren Kierkegaard* ...Tadayoshi Hayashi
- Schweitzer und Eichhorn: zum Abendmahl*Akiko Tanabe
- Theologie und Religionswissenschaft: Vorläufige Bemerkungen zur
Gestaltung eines schwierigen Verhältnisses*Christoph Schwöbel
- Essai sur don chez Ricœur: L'Économie du don
comme la source de l'éthique*Keisuke Sato
- Tillich und Schelling. Über die Antinomie
von Mystik und Schuldbewußtsein*Go Kondo
- Dissimilar Similarities: The Way of Ascending to God
in Pseudo-Dionysios*Eiko Ootsuki
- Les deux dieux justes chez Ptolémée et Marcion*.....Kenji Tsuda
- Reconstruction and Interpretation of Arius' Theology
and Soteriology*.....Masao Ohashi
- "Thinking in Understanding": Significance of Thinking
in Hannah Arendt's "The Life of the Mind"* ...Toshihiko Imade

THE SOCIETY OF CHRISTIAN STUDIES
KYOTO UNIVERSITY

Kyoto Japan